

**小原と熊野神社**

室町時代に播磨国飾東郡小原村として登場します。京都八瀬小原(大原)の住民が移り住んだのが村の始まりといわれ、地名も「小原」にしたと伝えられています。熊野神社には、元文元年(1736)と宝暦10年(1760)につくられた石の鳥居などがあります。

行った日



**春日神社(八重畑)**

天兒屋根命などの神さまがまつられています。江戸時代には若王子神社だったと伝えられています。境内には、鉢山での公害などで被害を受けた田んぼの税を減らしてほしいと願い出た河本弥信の碑など、昔の人の行いをたたえた碑があります。

行った日



**苔の清水・苔の地蔵(山崎)**

国道372号にある山崎バス停から天川を渡り、自転車専用道路を南に進むと、山のふもとにお堂があり、右脇に清水がわいています。この清水は、「苔の清水」とよばれ、播磨十水の一つといわれています。また、お堂の中には3体の石仏があり、「苔の地蔵」とよばれてきました。

行った日



**巡礼道(丹波街道)**

巡礼者が法華山一乗寺から書写山円教寺に向かって通った道です。大釜から八重畑を通り、山崎の橋を渡って天川に沿って豊国に向かい、市川松ヶ瀬をわたって保城へと続いています。八重畑には合羽屋・紅屋などの巡礼宿がありました。

行った日



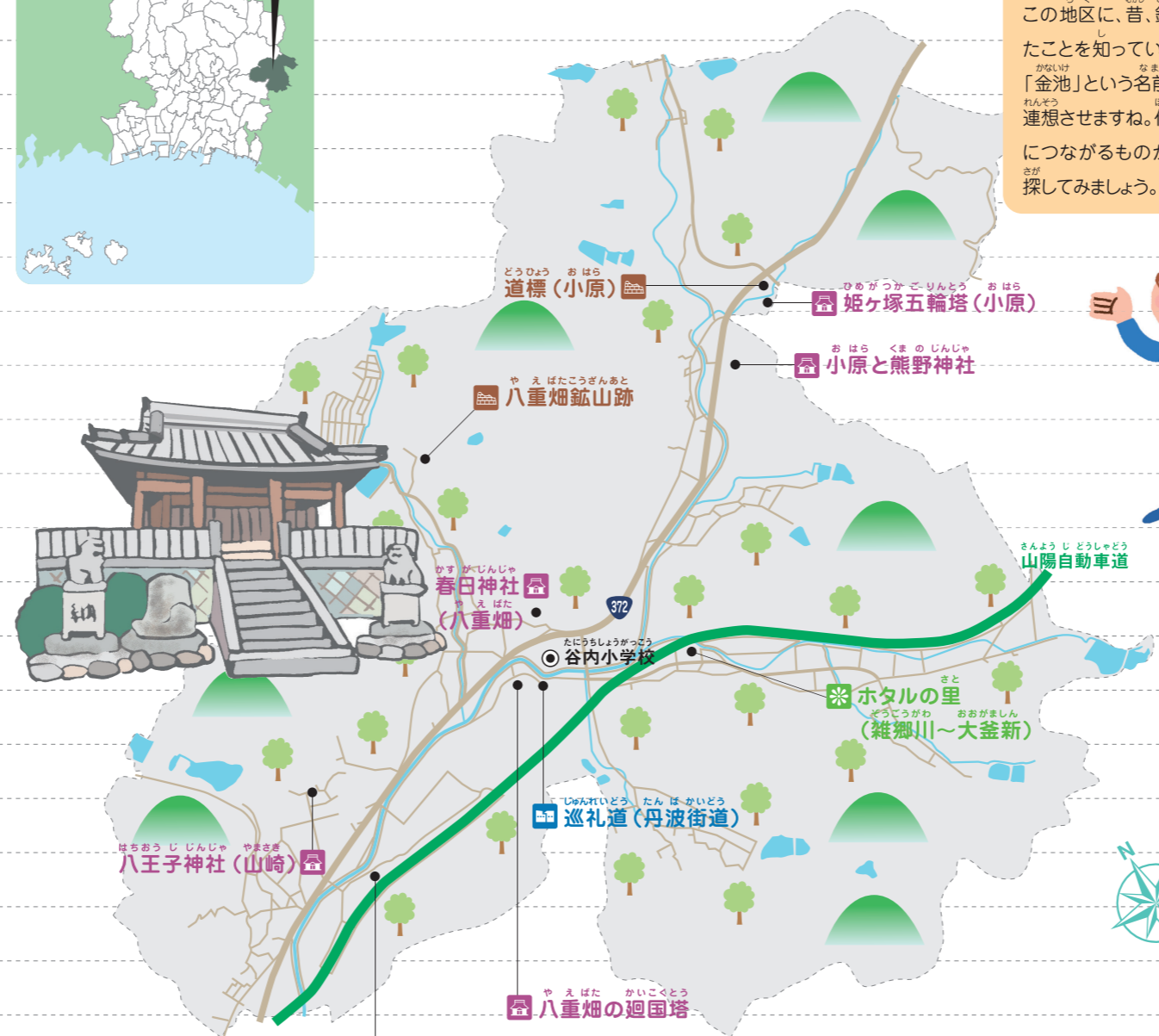
**道標(小原)**

小原バス停から国道372号を600mほど北東へ行くと、右に曲がる小道があります。この角に二つの道標があり、「右ほつけ 左たんば」と彫られています。ここが丹波道で、ここで交わる小道が巡礼道の脇道であったことを示しています。

行った日



谷内地区



この地区に、昔、鉢山があったことを知っていましたか? 「金池」という名前は鉢山を連想させますね。他にも鉢山につながるものがあるのかが探してみよう。



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝説行事
- 美術品

- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



調べたこと、わかったことを書いてみよう!



**八王子神社(山崎)**

山崎集落の北にある山のふもとにあり、昔は八王子若王子権現とよばれていました。八王子神、若王子神などがまつられています。明治元年(1868)に姫路城の城門を移したものと伝えられている門がありましたが、古くてボロボロになり、倒れるおそれがあるので平成23年(2011)に取り除けられました。

行った日



**姫ヶ塚五輪塔(小原)**

小原バス停から国道372号を600mほど北東へ行くと、右に曲がる小道があり、その先に樋枝池があります。堤防の下には「姫ヶ塚」とよばれる五輪塔があり、塔の土台には「志趣者為 自他法界平等利益也」という文字と、「建武4年」(1337)という文字が彫られています。

行った日



**ホタルの里(雑郷川~大釜新)**

平成2年(1990)、天川の支流、雑郷川が整備され、PTAと谷内小学校がホタルが集まるふる里づくりに取り組みました。卵から幼虫への飼育には、すべての児童が参加し、5月には川に放し、6月にはホタルが飛び交う里が復活しました。

行った日



**八重畑鉢山跡**

天川の支流、八重畑川に沿って北に進むと金池があります。この池の東西の山のふもと一帯が、八重畑鉢山(長谷山鉢山、有乳山鉢山、別名:太閤鉢山)の跡です。銀・銅・亜鉛・スズが掘られていましたが、大正時代に中止され、廃鉱になりました。

行った日



**八重畑の廻国塔**

天川の左岸、谷内公民館の南にある山のふもとに建てられています。「大乘妙典日本廻国供養塔 六十六部天下和順 日月清明」嘉永元年(1848)願主当村伊佐工門」という文が彫ってあります。

行った日

